

りんぽかん

隣保館だより

楽しく！ゆっくり！



手話を始めませんか？

方城手話の会では、聴覚障がいに対する理解と、支援を目的に活動しています。

教室の中では、テキストやDVDを使い、基礎的な単語や日常会話などを習っています。参加者の中には検定試験を受け、資格を取得したり、講演会などで手話通訳をする人もいます。

また、参加者同士の繋がりを大切にしており、教室以外でのバスハイクや忘・新年会など、様々なイベントを通して交流を深め、楽しくをモットーに活動しています。

**入門編となっておりますので
初めての方でも安心して気軽に参加できます！**

《手話を習っている様子》



人権のまちづくり講座

福智町の隣保館では、人権啓発の取り組みとして「人権のまちづくり講座」を開催しています。

今年度第3回目として、2月18日に渡邊 聡子さんと北九州市立大学の学生さんをお招きして【遅刻・不登校の支援】をテーマに公民館金田分館で開催致しました。前回と同様に、広報の掲載や各行政区への回覧のお願いをする等呼びかけに力を入れました。また、毎日子どもと関わっている学校の先生方にも呼びかけさせて頂きました。

講座には、約70名が参加してくださり、福智町スクールソーシャルワーカー（SSW）の渡邊先生や、不登校の体験談を話して頂いた大学生の講演を通じ、子どもに寄り添い、日常会話の中にある心のサインを見逃さず、早期発見・早期解決が重要であることを学びました。今後も人権のまちづくり講座を開催致しますので、ぜひお気軽にご参加下さい。講座の案内は、広報やポスター等でお知らせいたします。

SSW(スクールソーシャルワーカー)

とは・・・

学校や日常生活における問題に直面する子どもを支援する福祉専門職のこと。



福智町の隣保館活動を紹介します！



隣保館って何だろう？

隣保館は、地域社会全体の中で地域住民の福祉の向上、人権啓発、住民交流の拠点となる福祉施設（コミュニティセンター）です。

福智町の隣保館では、部落問題・人権問題の解決、まちづくり、地域のつながりづくり、住民の福祉の向上、高齢者の生きがいづくりなど、さまざまな取り組みを行っています。

地域活動の支援

仲間づくりやリーダー研修、学習、人権学習などを通して、「差別に気づき、差別をなくしていける子どもたちの育成」をめざした地域活動の支援を行っています。

- ♪解放子ども会
- ♪子ども学習会
- ♪高校生学習会
- ♪保護者会・親の会



高齢者の支援

町内の60歳以上の方を対象に、ふれあい交流が実施されています。毎月1回、自分たちの住む地域の隣保館や集会所に集まって、体操やレクレーションなどを行っています。

ふれあい交流は、高齢者の生きがい・居場所づくり、介護予防を目的に、地域の世話役さんが中心となって運営していく自主活動です。



ほのぼの館



人権啓発

人権啓発の取り組みとして人権のまちづくり講座を行い、町民の方々が人権問題について学ぶ機会を設けています。



隣保館教室

住民の交流の場、人を大切にできる場として、さまざまな隣保館教室を実施しています。